



施政方針演説をする前田市長

令和8年度

枕崎市 施政方針

令和8年度枕崎市議会第2回定例会が2月27日招集され、前田祝成市長が令和8年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

令和8年3月議会の開会に当たり、市政運営の所信と基本方針についてご説明し、市議会並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、さきの市長選挙において、市民の信託を頂き、枕崎市長3期目の重責を担うこととなりました。市民の皆さまの負託に応えられるよう、これからの4年間、私自身が日々精進し、市役所職員の方が総動員して市政を前へ進めてまいります。

三つの枕崎の未来像

さきの市長選挙において私は、「枕崎の未来をつくる」と

申し上げ、三つの枕崎の未来像を掲げました。

一つ目に「子どもが輝き、大人も輝く枕崎」子どもが生き生きと暮らし、大人が子育てに生きがいを持てる枕崎をつくりたい。

二つ目に「若者が夢と希望を叶える枕崎」これから子どもを産み育てる若い世代が明るい将来設計・展望を描ける枕崎をつくりたい。

三つ目に「高齢者が安心して暮らす枕崎」生活支援サービスの実を充実させ、お年寄りが笑顔で健康に暮らせる枕崎をつくりたい。この目指す三つの枕崎の姿を実現するための諸施策に取り組んでまいります。



▲枕崎市立病院

市立病院に小児科を開設

子育て支援について、4月から枕崎市立病院において平日の小児診療を開始します。これまで日曜日の小児診療を行っておりましたが、今後は日曜診療を含む週5日の小児診療を行います。

子どもが安心して過ごせるスペース

かねてより市民の皆さまから要望のある「雨の日や夏の暑い日に、子どもが安心して過ごせるスペース」の設置について、令和8年度中の清算結了が予定されている南薩地域広域産業振興センター1階への設置を検討します。

若者就労者支援直接支給付金事業を開始

人口減少、少子化という本市の最も重要な課題解決に向けて、これから子どもを生み育てる若い世代がこの枕崎で仕事をもち、暮らしを成り立たせることができ、将来設

高齢者が安心して暮らせる環境の充実

計・展望を描ける地域づくりを果敢に取り組みます。その一つとして「若者就労者支援直接支給付金事業」を開始します。これは、本市に住む40歳未満で就労1年目から5年目までの若者に直接給付を行うもので、若者の手取りを増やし、生活を支援することににより、少子化対策等に寄与するとともに、事業者の人材獲得等にも寄与することで、本市産業の供給力、競争力の強化にもつなげていきます。

高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりに対

枕崎漁港の機能強化に向けて

本市の産業の中心とも言える枕崎漁港の機能強化に、中長期の視点で取り組んでいきます。まず、老朽化により使用が制限されている内港荷捌き所の建替え工事が新年度から2カ年計画で行われます。

この内港荷捌き所が整備されることで、遠洋カツオ一本釣り船の水揚げ、青物の中型巻き網船の作業場、さらには朝市などの催事場所といった幅広い用途で活用されることが期待されます。東側の特定目的岸壁については、事業者等による利用ニーズが高まっており、今後の更なる機能強化が求められます。関連する団体等との協議を進め、枕崎漁港の港湾的機能を、これまでの漁港としての機能に加え、高めてまいります。

産業競争力と枕崎ブランドの発信

未来の枕崎の姿を描いたとき、本市の強みである産業競争力をハード・ソフト両面から高めていく必要があります。昨年の秋、東京で開催した「まくあけ、まくらぎ」枕崎市プレミアムマーケットは、枕崎ブランドの今後の発展への大きなステップとなりました。ユネスコ無形文化遺産の「伝統的酒造り」と「和食」、この二つの無形文化遺産を支える本格焼酎、枕崎鰯節、そのほか、お茶、さつまいもなど本市産品のブランド価値を高めていくために、このイベントを令和8年度は更に発展させていくこととしていきます。

農業発展への取り組みについて

昨年は、世界的な抹茶需要の高まりなどによりお茶の価格が高騰し、本市でも通期の茶生産額が過去最高の36億円余りを記録しました。今後も

本市の公教育のあるべき姿を描いていきます

しばらくこの状況が続くことも予想されており、本市としても市場の動きを注視し、茶業の更なる発展・強化を図っていきます。そのほか、畜産、花き、果樹、甘しょなども同様に市場の動きや消費の傾向を注視しながら農業の発展に努めます。



▲旧金山小学校

旧金山小学校校舎の活用について

令和7年度に進めてきた旧金山小学校校舎の整備事業がまもなく完了します。同施設で公共職業訓練等を行うIT系誘致企業において新たな雇用が生まれることや、同企業

第7次枕崎市総合振興計画および第3期枕崎市地方創生総合戦略

本市では、令和8年度からスタートする第7次枕崎市総合振興計画に包含する「第3期枕崎市地方創生総合戦略」の「産業が発展する『稼ぐ力』のあるまちプロジェクト」、 「若者や女性に選ばれるまちプロジェクト」、 「多くの人とつながるまちプロジェクト」、 「多様なひとが安心して暮らせるまちプロジェクト」の四つを総合振興計画の重点

結びに

令和8年度の施政に対する基本的な方針を述べましたが、これらの施策の実現については、住民福祉の向上を最優先とし、私以下全職員が一丸となり、研鑽努力を重ね、計画的かつ効率的な執行を旨とし、真に公正で市民に奉仕する姿勢をもって対処いたします。

施政方針をホームページで公開

施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

掲載ページ
【市長の部屋⇒施政方針⇒令和8年度施政方針】



▲施政方針全文